

■中国：国家エネルギー局、原子力発電開発を後押し

2011年1月14日付の報道によると、中国の世論は中国原子力発電の急激な発展に伴う安全性を疑問視している。これについて国家エネルギー局は、2010年広東省大亜湾原子力発電所で発生した2件のトラブルについて、発電所外部の放射能環境観測データが変化しておらず、所内も国際基準の正常値の範囲内で、現在稼動している国内の13基の原子力発電運行はトップレベルにあり、安全性には問題はないとしている。審査機関によると、2010年末時点で32基3,486万kW分の建設が許可されている。さらに、「第十二次5カ年計画」（2011～2015年）期間中には10基の許可が下りる予定となっている。これによって、2020年末時点の原子力発電設備容量は8,600万kWに達すると見られる。